

八戸

就活控え3年生 自己PR法学ふ

八学大で模擬面接

3月にも企業説明会が解禁となり、本格化する就職活動を前に、八戸学院大は9、10の両日、同大で模擬面接講座を開いた。2日間で3年生約20人が参加し、上手な自己PRの仕方など、本番で役立つ面接のこつを学んだ。

講座は、同大が昨年10月から開講している

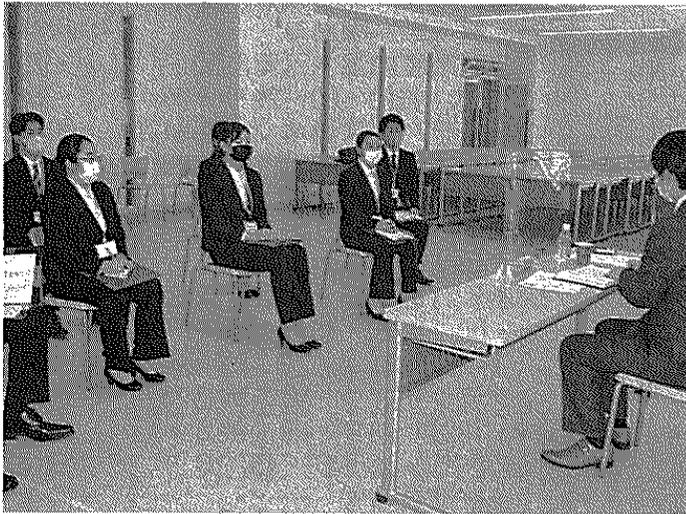
就活セミナーの一環。今回は八戸市内の企業の採用担当者を講師に

招き、実践的なアドバイスを受けた。

9日午前の部では、吉田産業の採用担当者を前に、学生8人が「入社後に頑張りたいこと」「10年後の理想の姿」について自身の考えを述べた。担当者は「マスクを着けての面接では、普段以上に声量を気付けた方がいい」などと、一人一人に対して助言した。

人間健康学科3年の佐藤真琴さん(21)は、「第一印象が重要だと聞き、勉強になった。

就活に向けて、さらに頑張っていこうと気が引き締まった」と話していた。(金濱千優希)



企業の採用担当者(右)から面接のアドバイスを
受ける学生